

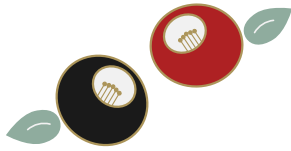


兵鍼会報

公益社団法人 兵庫県鍼灸マッサージ師会
一般社団法人 兵庫県保険鍼灸マッサージ師協会

247号
2022年1月発行





新年のごあいさつ

会長 賀内 進一

謹んで新年のお慶びを申し上げます

会員の皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げますとともに、日頃から県師会に対し深いご理解と格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

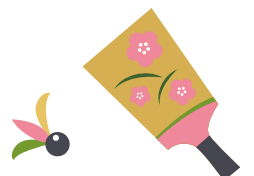
一昨年は新型コロナウイルス感染拡大の為、県師会の事業のほとんどが中止となってしまいました。しかし、昨年は啓発事業が中止となりましたが、学術事業は感染予防対策を徹底しながら開催しました。参加者の皆様のご協力により感染者を出さずに無事終えることが出来ました。有り難うございました。

又、東京オリンピック。パラリンピック2020も無事に開催されました。感染予防対策を徹底すれば実施可能であることが証明されたと思います。今年は啓発事業も開催できるようになればと思っています。その際には会員の皆様の御協力をお願い致します。

現在、あはき柔整等広告ガイドライン検討会が開催されています。有資格者の不適切な広告を是正することは元より、無資格者の違法広告を無くす絶好のチャンスです。又、あはき法（法217号）改正も検討しなければなりません。これにつきましては全鍼師会法制委員会が対応にあたっております。県師会としましても最大限協力をして参ります。

年末には変異株オミクロン株が南アフリカで発生し諸外国に広がっています。日本にも入ってくると思われますが、予防対策を徹底し感染しないように注意してください。

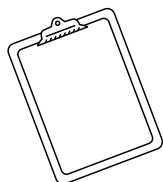
結びに、本年も会員皆様方にとりまして幸多い一年でありますよう祈念申し上げます、年頭の挨拶とします。



各種表彰

櫻井義明氏（明石）が全日本鍼灸マッサージ師会会長表彰を受賞されました。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

※令和2年度東洋療法研修試験財団理事長表彰は、残念ながら該当者はいませんでした。



第20回東洋療法推進大会in大阪参加レポート

広報部長 天野 豊

10月17日(日)午前10時より、第20回東洋療法推進大会in大阪が昨年に引き続き無観客で開催されました。昨年は、web開催で配信された動画を見るだけでしたが、今年はライブ配信も行なわれ400人以上の参加があったようです。

現場には、全鍼師会の執行部や関係者40名余りで機材の設置から素人ばかりでこの大会に臨んだため、アクセスや音声トラブルがありましたが概ね成功していたように思います。

私は、午前中の分科会に「視覚障害鍼灸マッサージ師の現状と課題」、午後から特別講演「腰痛の新しい概念とその治療の実際」、午後の分科会に「地域包括ケアにおける鍼灸マッサージ師の役割」を視聴しました。

分科会は全部で6つあり、11月に全行程がオンデマンド配信されましたので、併せて簡単にご紹介します。

分科会A会場

保険 委員会

ここでは、長野県の人口約6万人の市で開業されている会員さんの活動をインタビュー形式で紹介されていました。

ご主人が「あ・は・き師」で、奥様が「作業療法士」だそうです。保険施療を行なうために積極的に役所や包括センター・医師会・社福・議員さんのもとへ足を運び、リーフレットや自ら作成したチラシ等を持ち込み話しを聞いて頂いたりしているとの事でした。

以前同意書を書いて頂いていた医師に再同意を断られた話や、ケアマネの紹介状を添えてお願いに上がると同意書を発行してくださった等の話もされていました。

地域のケアマネ講習会に参加し、介護との連携を訴えたり、とにかく数多くの場所へ出向き、結果にはなかなか繋がらないが意欲的に活動されている事に関心させられました。

分科会B会場

スポーツ・ 災害対策 委員会

こちらの会場では、テーマを「コロナ禍における鍼灸マッサージ師の役割」として、熱海での土砂災害を支援する消防士やコロナ病棟で働く職員への支援者支援と、33都道府県のスポーツ・災害対策に関するアンケートの結果を発表されていた。

コロナ禍での被災地における活動の難しさ、それらを支える多くの人の疲労やストレスを緩和させる支援者支援の有用性などを実際に行なったデータを基に報告された。

アンケートでは、回答のあった33都道府県の集計結果が紹介され、担当部所や活動の有無を比較し、活動をしている師会の方が会員減少を抑えられているのでは？等の報告がなされた。また、「各県師会において、行政等と顔の見える関係を構築して頂きたい」との発言があった。

分科会C会場

視覚障害 委員会

「視覚障害鍼灸マッサージ師の現状と課題」では、7月頃からアンケートを採っておりました「視覚障害あはき師経営実態調査」の23項目について、会員270名から寄せられた集計結果の発表がありました。

視覚に障害がある故、二の足を踏んでしまう事や、保険の取り扱いをするのは難しいので行っていない等、いろんな意見が寄せられた。

また、点字電子メモを使つてのカルテ管理の実践がおこなわれたり、保険取扱いを可能にするためにはどのようにしたらよいかなど、今後Zoomを活用して知恵を寄せ合う等の結論に至った。

そして、最後に「あ・は・き法19条裁判」の新着情報の説明がありました。

特 別 講 演

ここでは、「腰痛の新しい概念とその治療の実際」として、東京大学医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門 粕谷大智

先生より腰痛を起こすメカニズムから治療法まで詳しく説明いただいた。

腰痛は、「脊椎の形態学的異常」ではなく「脊椎と脳の機能異常」で、運動器と中枢の機能障害の共存であり、患者様に向かい合うことや鍼灸治療に加え、セルフケアをすることが重要であると言う。また、いくつかの症例をあげて説明され、難しい言葉も出てきましたが、大変勉強になりました。

分科会A会場

介護委員会

この会場では、「地域包括ケアにおける鍼灸マッサージ師の役割」をテーマに、大阪府看護協会地域包括ケア担当理事による看護協会の様々な活動について話しを伺った。

私は9年前から機能訓練特化型デイサービスで、マッサージを生かした機能訓練指導員として務めており、どんな話になるのか楽しみにしておりました。しかし、中身は大阪府看護協会の理事さんによる看護師の幅広い活動を紹介しているだけでした。なるほど、コロナ禍において看護師の役割は大変重要で、病院だけでなく活躍の場は広く素晴らしいとは思いましたが、「鍼灸マッサージ師の役割」の部分が医療保険による訪問治療を行えていると言うだけで、看護師の業界と仲良くして欲しいと話されていたのが印象的で、とても残念だと感じました。

分科会B会場

法制委員会

法制委員長より、都道府県に法制担当部署の設置をお願いし、全鍼へ意見を上げて頂きたいとの挨拶で始まった。11都道府県よりの質問を4つにまとめ、厚労省の太田医事専門官に回答いただいた。

「〇〇院」や「〇〇治療院」は、医療と誤認する恐れがあるので名称に使えないが処罰の対象にはなっていない。名称は各自治体により周知徹底されておらず、届け出を認めているところが多く存在している。

医療関係団体の法には定義が定められているのに対し、あ・は・き法にだけは定義がないので、現在ガイドラインを作成している。そして、無資格者の団体にも同じ広告ガイドラインを示すように持って行ければ等の話があった。

最後に、法制委員長が「国民の安心安全の為に我々業団は一致団結して邁進しなくてはならない」と締めくくっていた。

ここでは、5つの症例報告の動画を流し、1つ1つ質疑応答する形式で進められていました。症例報告・臨床研究は下記の通りです。

- 1 「産後腰痛に対する骨盤ベルト装着と鍼治療併用の直後効果の比較」
- 2 「肝臓癌末期患者への経絡治療」
- 3 「運動教室での擦過鍼刺激が歩行能力に与える影響」
- 4 「先天性疾患による車椅子生活から公務員への道のり」
- 5 「昨年江の島に建立された杉山検校生誕410年記念像について」

1では、妊娠36週～38週の腰痛をお持ちの方を対象に、出産後鍼治療を行い、その効果を検証したもので、良い結果に至り満足している印象を受けました。

2では、67歳男性の末期癌患者に日本鍼医学会方式で経絡治療を行い、良い結果に繋がった経験から、誰でも経絡治療を使えこなせるようになっていたいただきたいと言われていた。

3では、介護予防体操後にローラー鍼を用いて擦過鍼刺激お行う事で、運動機能の向上がみられたとの報告がなされた。

4では、先天性疾患により、一時は一歩も歩けなくなっていた状態から、鍼灸治療や運動療法等を7年間行い社会復帰するまでに至った症例発表でした。

5では、杉山検校生誕410年記念像の制作過程から、江の島神社への設置までが紹介された。高さ：台座を含め165cm 費用：約600万円との事でした。

以上、





「臨床研修会」を終えて

学術部担当：佐々木 文孝

テーマ「介護現場における、腰痛の予防」

日時：2021年7月2日（金） 13時30分～16時まで

場所：垂水区役所・レバンテ3階第5会議室

講師：元垂水地区会長 北川忠司 先生

近年、ますます世の中は高齢化が進んでいます。そして、様々な形で介護を受けている高齢者も増えています。また、介護を行うスタッフのかたがたの健康も不安視されています。なかでも、腰痛を始め大腿部や下腿部などといった足痛・背部痛などが問題視されています。

そこで、そういった痛みなどをどのように予防すればよいのか？ 垂水地区元会長の北川忠司先生に実技と講義を交えて指導して頂きました。

腰痛を予防するには、日ごろから姿勢をよくして、仙腸関節や股関節などを柔軟にして、足・腰全体の筋力をつけることが大切だと話されました。実技では、運動法や筋肉の伸展法などを手取り・足取り指導してもらいました。筋肉の伸展法をおこなうと痛みが和らぎ、関節の動きが滑らかになることを改めて痛感しました。筋力トレーニングで行うスクワットは、かなりきつく感じました。腰痛以外にも肩・首の筋肉の伸展法を復習を兼ねて学びました。眼精疲労を予防するには、肩首の筋肉の伸展法を行うことが不可欠という2年前の研修会を思い出しました。

去年は、コロナ感染増大で様々な活動が中止になりましたが、今年は感染対策などを万全にして実施できてよかったです。





「チクチク療法講習会を受講して」

西宮：瀧川 敦子

11月28日(日)に西宮勤労会館でチクチク療法講習会が開催されました。それに先立って8月の夏期大学の時にはチクチク療法の創案者である脳外科医の長田裕先生が講義をしてくださり、腰痛、ひざ痛、ばね指、肩の痛み等々瞬時に症状が改善され、驚きの連続でした。

1回の講座ではまだわからないところが多々あったので、今回は芝山豊和先生にお願いして講義をしていただきました。理論講義の後、臨床では腰パートの刺激点を丁寧に教えていただき、二人ずつのペアで互いに施術しました。また、先生が一人一人にチクチクしてくださり、圧加減が良くわかりました。今回の講義の収穫は下肢の疾患に効果のある腰パートの刺激点が良く分かったことで、膝の痛みを訴える患者さんに早速取り入れてみたところ、痛みが改善したようで、私自身驚いています。

以前一時期井穴刺絡を学んでいた時、無血刺絡に出逢い血を出さない刺絡とは一体どんなものか興味を持ちましたが、その時はさっぱり理解できずそのまま近寄りませんでした。今回長年の心の底に持っていた夢がかなって講義を受けることができました。チクチク療法は免疫療法である安保一福田理論をもとに開発された治療法で自然治癒力を高め、運動器疾患だけでなく生活習慣病、パーキンソン病等難病、様々な疾患に効果を上げているそうです。

デルマトームの理論と刺激点さえ覚えれば、誰にでも簡単に施術できる手技なので自分の施術にプラスして引き出しが一つ増えたような感じですが、やっと入口に来たところで、もっと多くの症例、施術方法を学んで自信をつけていきたいと思います。



今回の講座には創始者の長田裕先生他、カナケンの大阪支社から4名、東京本社から専務も来てくださり、器具を貸し出していただきました。チクチク療法普及会の講習会は東日本では何度も開催され広まっているようですが、西日

本ではこれから広めていきたいと考えられているようです。参加者は全遠く岡山から来られた方もあり、皆さん熱心に受講されていました。引き続きチクチク療法普及会主催で講習会が開かれるようで、次回も是非参加したいとの声が多数上がっていました。

地区
便り

施術者だけでなく、一般の方にもできる手技なので広く世間に広まって健康の維持・改善に役立つといいなと思っています。

姫路地区講習会報告

姫路鍼灸マッサージ師会 学術部長：難波 正博

12月5日（日）9時30分より、姫路市民会館4階第3会議室に置いて、神戸東洋医療学院 元非常勤講師 伊藤傑先生をお招きして、認知行動療法について学びました。

認知療法・認知行動療法とは、現実の受け取り方やものの見方を認知といいますが、認知に働きかけて心のストレスを軽くしていく治療法を認知療法・認知行動療法といいます。認知とは、何かの出来事があったときに瞬間的にうかぶ考えやイメージがあり、自動思考と呼ばれています。自動思考が生まれると、それによって色々気持ちが動いたり行動が起こります。ストレスに対して強い心を育てるためには自動思考に気づいて、それに働きかけることが役立ちます。

つらくなったときに頭に浮かんだ考えやイメージに注目して、バランスの良い考え方に変える。認知療法・認知行動療法では、つらくなったときに少し立ち止まり、そのときに頭に浮かんでいる自動思考を現実にとった柔軟なバランスのよい新しい考えに変えていくことで、その時々を感じるストレスを和らげる方法を学ぶことができます。そして、楽な気持ちでもっと自分らしく生きられる可能性がでてきます。

次に、腰痛と認知行動療法について話されました。痛みの誤った認識を修正する認知療法と、痛みと行動の関係を知り、日常生活でできることを増やしていく行動療法を組み合わせた治療法です。不安が痛みを長引かせる。痛い脳



の過敏不安・恐怖・私達は痛みを脳と心で受け取ります。痛みが続いたら、どうしようと不安感が長く続くと脳が過敏になり、けがが治っても痛みが取れなくなる。さらに、原因さえわからないのに、なぜか痛いと感じるようになる。

次に治療法の紹介があり、エクスポージャ法・リラクゼーション・呼吸法があり実技があった。中国の氣功のように感じられた。



神戸地区講習会報告

神戸鍼灸マッサージ師会 学術部長：井上 和哉

【講題】 顧客目線を意識したコロナ禍の集患戦術

【講師】 兵庫県立大学大学院 社会科学研究科 経営専門職専攻
教授 西井進剛 先生

昨年に引き続き、兵庫県立大学大学院 社会科学研究科 西井進剛 先生をお招きし、令和3年12月5日（日） 13：30よりZoomによるオンライン講習会を開催した。今年度は申込み時点でアーカイブ受講者も募っていたため、リアルタイム参加者は12名、アーカイブ受講申込者4名の受講となった。

前半部分では各参加者のコロナ禍での治療院の経営状況の把握やアイスブレイクということでニックネームやエピソードトークで参加者それぞれの状況の違いなどを知ることができた。コロナ禍前の経営状況に戻っていない方、かなり戻っている方、あまり影響を受けていない方など経営状況はさまざまであった。

今回は「顧客目線を意識して……」ということで、そもそも顧客目線とは何か、我々にとって顧客とはどういった人なのか、どのような患者さんに来院して欲しいのかなど、それぞれの施術者によって顧客は違っており、それぞれがターゲットとする患者に応じて集患方法を考える必要があり、それにはまず自身が提供できる価値（施術サービス）は何か、強みはなにかを明確にする必要があり、それに応じて、ビジネスモデルを練り直すことも場合によっては必要ではないかとのご指摘があった。

ワークでは参加された先生1名をモデルにカスタマージャーニーにより来院して欲しい患者（常連患者）に対しての価値提供と施術方針などの施術側の思いなどを洗い出し、価値提供と施術方針に少しズレが生じていることなどが明らかになった。このズレを減らしていくことがリピーター獲得には重要であることなどが理解できたのではないだろうか。

新規患者を集めることも大切ではあるが、自身の治療院にどのような患者を集めてくるか、そして、その患者を常連患者へとどのように導いていくかが経営上は重要で、その考え方の方針が理解できたのではないだろうか。

終盤では昨今の広告規制の問題にも触れられ、現状ではまだグレーゾーンになっている部分が規制強化により使用できなくなることがあるので、そのあたりは動向を注視しつつ、規制に引っかからない広告に使用できる文言などは法律の専門家とも連携した方がよいであろうとのアドバイスもいただいた。

鍼灸マッサージ院は様々な運営状態がある中で、それぞれの院の経営について気づきになる点が多い講習会になっていれば幸いに思う。

広報部から
のお願い

月刊情報mAm（mam）メルアド登録のお願い

3か月ごとの兵鍼会報では間に合わない情報や緊急を要する情報（臨時情報mAm）をメールにて配信しております。このmAmは、PCを持たない方でも携帯のメールアドレスを登録して頂ければ受け取る事が出来ます。

現在、約3分の1の会員様に登録して頂いておりますが、95版（2020年12月）も発信しているにも関わらず、まだmAmの存在すら知らない方がいらっしゃるようです。

是非、登録のほど宜しくお願い致します。

【登録先】

mail：info@mam-hyogo.or.jp

件名：mAm配信希望

本文：所属地区名と氏名をご記入の上、送信してください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます

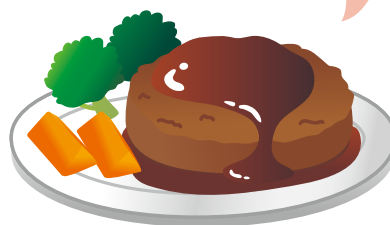
本年度も美味しい情報を届けられたらと思っていますので、宜しくお願い致します。

近年は飽食の時代で、いつでも好きな物が食べる事の出来る時代になりました。私が幼い時代は、お正月と言えば4～5日間同じおせち料理を食べていたものです。お正月から開いている店は無く、お節に飽き飽きしていたものです。今回は、余った煮しめを使ってハンバーグを作ってみましょう。

【材料】 2～3人前

- 1.煮しめのレンコンやゴボウ、竹の子など余った具材。
- 2.合い挽きミンチ 300g
- 3.パン粉 3分の1カップ
- 4.牛乳 50ml
- 5.たまご 1個
- 6.こしょう 少々

余った煮しめ
ハンバーグ
レシピ



【作り方】

- 1.余った煮しめの具材を粗みじん切りにする。
- 2.上記の具材と〈材料〉2～6をボールに入れて混ぜる。
- 3.手頃な大きさに分け、掌に叩きつけるように空気を抜く。
- 4.フライパンに油を引き、両面をしっかりと焼く。
- 5.焼き上がったらお好みのソースを付けてお召し上がりください。
(オススメのソースは、大根おろしの水気を取りポン酢をかける)

※美味しく焼くコツは？

- ・ミンチの形を整えたら、最初に焼く上になる真ん中を少し指で凹ませる。
- ・最初は強火で両面に焼き目を付け、弱火でしっかり火を通す。

注：余ったレンコンやゴボウが無い方は、生の食材を荒くみじん切りにして塩こしょうで炒めてからハンバーグのネタに混ぜ込んで焼いてください。

【発行所】

公益社団法人 兵庫県鍼灸マッサージ師会
一般社団法人 兵庫県保険鍼灸マッサージ師協会
〒673-0018 明石市西明石北町3丁目8番15号
TEL (078)-926-0801 FAX (078)-926-0802
mail info@mam-hyogo.or.jp
URL https://mam-hyogo.or.jp/